

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と希望のある神奈川を



<https://araikinuyo.jp/>

11月12~15日、26市町で最多の32種目初めての「ねんりんピック神奈川大会」開催

主に60歳以上の高齢者を中心とした国民の健康保持・増進や社会参加の促進などを目的にし、スポーツ・文化種目交流大会など多彩なイベントが繰り広げられる「全国健康福祉祭（愛称・ねんりんピック）」の第34回神奈川・横浜・川崎・相模原大会が11月12日（土）から15日（火）まで神奈川県内の26市町の会場で開催されます。大会が神奈川県で開かれるのは初めてで、これまで最多の32種目が行われます。主催は厚生労働省、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、一般財団法人・長寿社会開発センターで、共催がスポーツ庁です。県では参加者は選手・役員約1万人はじめ観客を含め延べ約60万人と見込んでいます。

ねんりんピックは昭和63（1988）年、兵庫県で開かれた第1回大会以降、毎年、各都道府県持ち回りで開催され、第32回大会は2019年、和歌山県で開かれました。2020年の第33回岐阜大会はコロナウイルス感染症のまん延のため延期され、2021年に開かれる予定でしたが同じ理由で中止となりました。34回神奈川大会は3年ぶりの開催ということになります。大会の呼び物となるスポーツ交流は卓球、テニス、ゴルフ、マラソンなど8種目、60歳以上の各都道府県、政令指定都市の代表となった人が出場できるものです。ふれあいスポーツ交流は水泳、グラウンドゴルフ、オリエンテーリング、ラグビー、サッカーなど18種目、文化交流は囲碁、俳句など4種目。開会式は12日、新横浜駅近くの横浜アリーナ（選手・役員の参加状況が未定のため一般の参加可否も未定）、閉会式は15日に横須賀市の横須賀芸術劇場で（一般の参加は申し込み予約が必要）行われ次回開催地の愛媛県に引き継がれます。

他にも「ふれあいニュースポーツ紹介・体験」（12~13日、横浜・大さん橋ホール）、「健康フェア」（12~14日、横浜産貿ホール）、「未病改善教室」（12~15日、交流大会実施会場）、「美術展」（12~15日、横浜・県民ホールギャラリー）、「地域文化伝承館」（展示12~14日、横浜産貿ホール、実演13日横浜・県民ホール小ホール）、「健康福祉機器展」（12~14日、横浜産貿ホール）、「ふれあい広場」（12,13日、横浜・山下公園）や神奈川の特徴を生かした「オリジナルイベント」、企業・団体による「協賛イベント」として9~11月に県内各地で16のイベント（9月、百人一首かるた交流大会、湯本富士屋ホテルなど）が開かれる予定です。一般参加は原則無料で自由ですがイベントによっては事前の申し込み、抽選による予約が必要なものもあります。問い合わせは県庁内の大会実行委員会事務局 ☎045-285-0731へ。



コレが言いたい!

昨年10月29日（金）～11月22日（月）に行った県民ニーズ調査で、「ねんりんピックが2022年に神奈川県内で初めて開催されることを知っているか」を尋ねたところ「知っている」が4.4%、「知らなかった」が94.8%でした。期間中は、スポーツ交流大会はもとより、神奈川県の食や特産品などを集めた「ふれあい広場」や、県内の地域文化や伝統芸能の伝承活動を紹介する「地域文化伝承館」などが設けられることから神奈川県の魅力を広める絶好の場となります。ねんりんピックを契機に来県者が多く訪れるよう大会の周知が引き続き重要です。

また、コロナ禍の中での初めての開催ですので、十分な感染防止対策を講じて、安全な大会運営を行っていく必要もあります。



9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年12月19日に国連総会で決議されました。神奈川県では、9月23日（金・祝）から29日（木）の18時から21時まで「手話が言語である」ことへの認知を広めるため県庁舎をブルーにライトアップします。

磯子あれ? これ?

浄土宗 安養山浄土院阿弥陀寺 (磯子区峰町)

当寺の草創の年代及び開山・開基は、不明です。新編武蔵風土記稿によると、元は峰村内字道場（現、峰市民の森入口付近）と呼ばれた所にありました。

この場所は、鎌倉古道沿いにあり、鎌倉時代の頃から鎌倉防衛の要衝でした。また、当寺は、京都知恩院の末寺として今日に至ります。応永年間（1394～1428）の戦乱（鎌倉戦争）の兵火で、長い間再興できませんでしたが、慶長年間（1596～1615）に、^{ぎょうほがくむ}暁譽覺夢和尚によって中興されました。

当寺の観音堂には木像の観音菩薩が安置されています。菩薩像の縁起は、言い伝えによると、天平16（744）年、佐野近世と言う人物の娘が継母に殺され、この娘と先に亡くなっていた娘の母親の菩提を弔おうとしたところ、仏師が現れ七日間で仏像を彫り上げると姿をくらましてしまいました。

その後、この仏像は様々な人の手に渡り、やがて知恩院の大僧正了鑑上人の手に渡り、了鑑上人が得度した阿弥陀寺に寄進され寺宝となりました。

普段は秘仏である為、公開されていませんが、令和3年に観音堂改修記念で開帳されました。

参考:磯子の史話

活動報告

「笑点」メンバーの山田たかお氏が敷田議長を表敬訪問した際に同席し、11月に本県で開催される「ねんりんピック」や「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度向上について、意見交換などをさせて頂きました。



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選

- 総務政策常任委員会委員
- 共生社会推進特別委員会委員
- 予算委員会委員
- 自民党県議団政務調査会会長
- かながわ自民党女性議員局長

